

1. 単元目標

- ・身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気付き、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむ。（知識及び技能）
- ・自分の姓名の頭文字を伝え合う。（思考力、判断力、表現力等）
- ・相手に伝わるように工夫しながら、自分の姓名の頭文字を伝えようとする。（学びに向かう力、人間性等）

2. 言語材料

- (The “A” card), please. Here you are. Thank you. You’re welcome.
- 大文字(A~Z), the, card, alphabet, please, here, thank, welcome, 数(21~30,0), book, drum, fish, gorilla, hat, ink, jet, king, monkey, notebook, pig, queen, rabbit, sun, tree, umbrella, violin, watch, box, yacht
[既出]挨拶, you, are, 数(1~20), apple, crayon, eg, lemon, orange

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かるようする。
話すこと (発表)	イ 自分のことについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようする。

4. 単元計画(4時間)

時	目標(◆)と主な活動(【 】, ○) 【 】= 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆活字体の大文字の読み方を知るとともに、身の回りにはアルファベットの文字で表されているものがあることに気付く。 【慣】【気】</p> <p>【Let’s Watch and Think】 p.22,23 ・映像資料を視聴して、アルファベットの様々な表示を見て何を表しているかを考える。 ○誌面の中に隠れているアルファベットの大文字を見つけよう。 ・絵の中に隠れているアルファベットの大文字を見つける。 【Let’s Sing】 ABC Song p.23 ○ポインティング・ゲーム(A~M) ○歌Goodbye Song(Unit2)</p>	<p>◎身の回りにはアルファベットの大文字で表されているものがあることに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉</p>
2	<p>◆活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむ。【慣】</p> <p>【Let’s Sing】 ABC Song p.23 ○何の文字か当てよう。 ・指導者が提示するアルファベットの大文字を見て、それが何か当てる。 ○文字を並べよう。 ・児童用巻末アルファベットカード(A~M)をAから順に並べる。 ○ポインティング・ゲーム(N~Z) ○線つなぎ</p>	<p>◎活字体の大文字の読み方を聞いたり</p>

	<ul style="list-style-type: none"> 指導者が言う大文字の読み方の順に、 その文字を線でつないでいく。 <p>○身の回りの物の中からアルファベットを探そう。</p> <p>○歌Goodbye Soong(Unit2)</p>	言つたりして文字と一致させている。 <行動観察・振り返りカード点検>
3	<p>◆活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむ。【慣】</p> <p>【Let's Sing】 ABC Song p.23</p> <p>○ピシゴ・ゲーム</p> <p>【Let's Play】 p.24</p> <ul style="list-style-type: none"> アルファベットの文字の形に着目して自由に仲間分けする。 <p>○アルファベットの文字を集めよう。</p> <p>○歌Goodbye Song (Unit2)</p>	<p>②活字体の大文字の読み方を聞いたり 言つたりして文字と一致させている。 <行動観察・振り返りカード点検></p> <p>②活字体の大文字の読み方を聞いたり 言つたりして文字と一致させている。 <行動観察・振り返りカード点検></p>
4	<p>◆相手に伝わるように工夫しながら、 自分の姓名の頭文字を伝えようとする。【コ】</p> <p>【Let's Sing】 ABC Song p.23</p> <p>○アルファベット並べゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達と協力し合って、 アルファベットカードを順に並べる。 <p>【Activity】p.25</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の姓名の頭文字を集めてイニシャルカードを作成する。 自分の姓名の頭文字を紹介する。 <p>○歌Goodbye Song (Unit2)</p>	<p>②自分の姓名の頭文字を伝え合っている。 <行動観察・振り返りカード点検></p> <p>②相手に伝わるように工夫しながら、 自分の姓名の頭文字を伝えている。 <行動観察・振り返りカード点検></p>

3年Unit6—Lesson1	ALPHABET	アルファベットとなかよし	1/4時間
目 標	身の回りにはアルファベットの文字で表されているものがあることに気付くとともに、活字体の大文字の読み方を知る。【慣】【気】		
準 備	デジタル教材、児童用テキスト、教師用カード(大文字)、児童用カード(大文字)、写真等、振り返りカード		

時間	児童の活動	指導者の活動	◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。I'm How are you?	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。		
8分	【Let's Watch and Think】 p.22,23 ・映像資料を視聴して、アルファベットの様々な表示を見て何を表しているかを考える。 スクリプト 指導書P24	・映像資料の町の中、または指導者が用意した写真 ・(駐車場の「P」、店の看板など児童がよく目にしているもの)、テキストの誌面などからそれぞれが何を表しているかについて考えさせながら、「アルファベット」という文字と、その名称に出会わせる。 ・教師用カード(大文字)を黒板に掲示して、次の活動につなげる。		写真等 デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード(大文字)
10分	○誌面の中に隠れているアルファベットの大文字を見つけよう。 ・絵の中に隠れているアルファベットの大文字を見つける。 ・身の回りからアルファベットの大文字を探して発表する。	・黒板に掲示したアルファベットの大文字を、誌面から探し、児童の答えに応じて、さらにアルファベットの文字の読み方(名称)を何度も聞かせ、文字と名称が一致するようにする。 ・誌面の町の絵の中からアルファベットの大文字を見つけさせ、デジタル教材でその読み方を再度確認する。 ・身の回りからアルファベットの大文字を探させる。 ◎身の回りにはアルファベットの大文字で表されているものがあることに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉		デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード(大文字)
5分	【Let's Sing】 ABC Song p.23 ・音声に合わせて歌う。	・音声教材を聞かせ、アルファベット順に黒板に掲示した教師用カード(大文字)をさし示しながら、一緒に歌う。慣れたら、少しずつスピードを速め、楽しく歌わせる。		デジタル教材 教師用カード(大文字)
13分	○ポインティング・ゲーム (A～M) ・言われた文字を指ですす。 ①ペアで行う。 ②個人で行う。	・ポインティング・ゲームをすることを告げる。児童用巻末アルファベットカード(A～M:カードは切り離さない)のページを使用して行う。指導者は、アルファベットの名称を言い、児童にその文字を指さすように言う。 ・最初はペアで、1枚のページで行う。慣れてきたら、1人1枚のページで行わせる。 ・次時までに、アルファベットの大文字A～Mカードを切り離しておくように伝える。		教師用カード(大文字) 児童用テキスト
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・児童の気付きや本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。		振り返りカード
2分	○歌Goodbye Song (Unit2) ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。		デジタル教材

目標 活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむ。【慣】

準備 デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード(大文字), 児童用カード(大文字), ワークシート(Unit6-1~6-5), 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。 I'm ^ .How are you?	・全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。	
3分	【Let's Sing】 ABC Song p.23 ・音声に合わせて歌う。	・児童と一緒に歌う。	デジタル教材 児童用テキスト
15分	○何の文字かな。 ・指導者が提示するアルファベットの大文字を見て、それが何か考えて答える。 ○文字を並べよう。 ・児童用カード(A~M)をAから順に並べる。 ※体でアルファベットを作ろう。 ・友達と協力してアルファベットを体で表す。 ・4人程度のグループか, 学級全体で行う。 ・比較的, 体で形を捉え易いアルファベットを事前に選び児童の代表者に引かせるなどする。 ・グループごとに協力して体で文字を作つて披露し, 他のグループが何の文字か考えて発表する。	・指導者は, 教師用アルファベットカードを一瞬見せたり, 黒板に大きくアルファベットの大文字をゆっくり書いたりしながらWhat's this(letter)?と尋ね, アルファベットの名称の言い方を思い出させる。 ・本時までに切り離しておいた児童用巻末アルファベットカード(A~M)をAから順に並べるように言い, 必要に応じて支援をする。 ※上記2つの活動の代わりに, 児童の実態に応じて, 「体でアルファベットの大文字を作ろう」をすることも考えられる。 ※進め方 ・まず, 指導者が体でアルファベットの大文字を表し, What's this(letter)? などと児童に尋ね、活動への意欲付けを図ると良い。学級の人数により形態を配慮する。	教師用カード(大文字) 児童用カード(大文字)
8分	○ポインティング・ゲーム (N~Z) ①ペアで行う。 ②個人で行う。	・ポインティング・ゲームを前回と同じ進め方で行う。 指導者は, Point to the letter 'N'. などと言う。 ・次時までに, アルファベットの大文字N~Zカードを切り離しておくように伝える。	教師用カード(大文字) 児童用テキスト
5分	○線つなぎ ・指導者が言う大文字の読み方の順に, その文字を線でつないでいく。	・AからZまでの読み方(名称)を確認した後, アルファベットの読み方を言い, そのアルファベットの文字をつないでいくように告げる。 ・文字の読み方を言った後, アルファベットの文字を示すなどして, 児童の実態に合った支援を行う。 ○活字体の大文字の読み方を聞いたり言ったりして文字と一致させている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	ワークシート(Unit 6-1~6-5)
5分	○身の回りの物の中からアルファベットを探そう。	・前時と同様, 教室や児童の文房具や洋服等の中からアルファベットの大文字を見つけ, その読み方とともに発表させる。児童の実態に応じて教室や学校内に広げる。	児童の持ち物(文房具など)
5分	・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。	・本時のねらいについて児童のよかつたところを称賛する。	振り返りカード
2分	○歌Goodbye Song (Unit2) ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	デジタル教材

3年Unit6—Lesson3 ALPHABET	アルファベットとなかよし	3/4時間
目標 活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむ。【慣】		
準備 デジタル教材, 児童用テキスト, 教師用カード(大文字), 児童用カード(大文字), 児童用カード(大文字)のコピー, Let's Try!2ワークシート(Unit1-2,1-3ビンゴシート), 振り返りカード		

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。 I'm How are you?	・全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。	
3分	【Let's Sing】 ABC Song p.23 ・音声に合わせて歌う。	・児童と一緒に歌う。	デジタル教材
8分	○ビンゴ・ゲーム ・自由に児童用カードを並べ(3×3, 4×4など)指導者が読み方を言ったカードを裏返していく。 ・縦, 斜め, 横一列にカードが裏返れば, ビンゴと言う。	・児童はペアで, 文字カードの内から9枚を選び, 机の上に縦・横3列に並べる。児童の実態に応じて16枚(4×4), 25枚(5×5)も可。また, 13枚ずつ2回に分けて(A～M,N～Z)行うことも考えられる。 Let's Try!2ワークシート(Unit1-2,1-3ビンゴシート)を活用してもよい。 ・ランダムにアルファベットの文字の名称の読み方を言う。 ◎活字体の大文字の読み方を聞いたり言ったりして文字と一致させている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	教師用カード(大文字) 児童用カード(大文字) Let's Try!2ワークシート(Unit1-2,1-3ビンゴシート)
17分	【Let's Play】 p.24 ・アルファベットの文字の形に着目して自由に仲間分けし, テキストに置く。	・アルファベットの文字の形への認識を深めさせることがねらいである。 ・直線のみの文字, 曲線のみの文字, 左右対称, お気に入りの文字など, 自由な発想で仲間分けさせる。 ・最後に, 発表させて仲間分けの理由を共有する。	児童用カード(大文字)
8分	○アルファベットの文字を集めよう。 ・2回程度行う。	・デモンストレーションをして, 進め方を理解させる。 ・アルファベットの文字の名称の読み方とともに, 次時のやり取りで使用する表現にも慣れさせることがねらいである。 ※進め方 ・児童が名称を言いやすいアルファベットの文字5～6種類程度のカードを人数分用意する。全てのカードをシャッフルしておき, 1人に5～6枚のカードを配る。 (同じアルファベットの大文字カード黒板に掲示しておく) ・児童は, 配られた文字を見て, Aから順に揃えるとか, 全部同じアルファベットにするなど, どのように集めるかを心の中で決める。 ・自由に歩き, 相手を見つけて, Hello(欲しいアルファベットの文字), please.と言う。それを持っていたらHere you are.もらつたらThank you You are welcome.などと言う。持っていないなつたら, Sorry.と言って, 違うカードを渡す。その場合もThank you.と言う。2～3分程度で席に着く。	児童用カード(大文字)のコピー
5分	・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。	英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったですを称賛する。	振り返りカード
2分	○歌Goodbye Song (Unit2) ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	デジタル教材

目標 相手に伝わるように工夫しながら、自分の姓名の頭文字を伝えようとする。【コ】

準備 デジタル教材、児童用テキスト、教師用カード(大文字)、児童用カード(大文字)とそのコピー、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
2分	・挨拶をする。 I'm How are you?	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
3分	【Let's Sing】ABC Song p.23 ・音声に合わせて歌う。	・児童と一緒に歌う。自分の名前の頭文字の時に立ったり座ったりするなどのアレンジもできる。	デジタル教材
8分	○アルファベット並べゲーム ・友達と協力し合って、アルファベットカードを順に並べる。	・黒板に、AからZまでの教師用カードをアルファベット順に掲示しておく。 ・ペアで協力しながらAからZまでのカードを机上に並べさせる。(立って並べ、完成したら席に座るなどしてもよい)時間を計るなどして意欲を高めながら数回行う。 ・児童の実態に応じて、ZからAへと逆に並べるなど難易度を上げてもよい。	教師用カード(大文字) 児童用カード(大文字)とそのコピー(2人に1組分)
18分	【Activity】p.25 ・自分の姓名の頭文字を集めてイニシャルカードを作成する。 ・文字カードを渡す役と、もらう役に分かれる。	・活動のモデルを示し、進め方を理解させる。 ・事前にカードを複数セット作成しておく。 (児童用カード(大文字)をコピーして切っておく。) ・児童を、渡す役ともらう役に分けて活動させる。時間を区切って役割を交替させる。 ・時間に余裕があれば、友達や家族のイニシャルを作成させてもよい。	デジタル教材 児童用カード(大文字)のコピー
7分	・自分の姓名の頭文字を紹介する。	◎自分の姓名の頭文字を伝え合っている。〈行動観察・振り返りカード点検〉 ・デジタル教材を見せたり指導者がモデルを示したりして、児童に活動への見通しをもたせながら意欲付けを図る。 ・デモンストレーションで使用する表現を確認し、隣どうしで紹介し合い活動に慣れさせる。 ・個に応じた支援を行い、自信をもって積極的に活動できるようにする。 ・グループや学級全体で、もしくは自由に歩いて紹介し合うなど、学級や児童の実態に合わせて紹介の仕方を工夫する。 ◎相手に伝わるように工夫しながら、自分の姓名の頭文字を伝えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	デジタル教材 児童用テキスト
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・英語を使おうとする態度や本時のねらいについて児童のよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	○歌Goodbye Song (Unit2) ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	デジタル教材